

## ブラジル・マクロ経済情勢

### (1) 経済情勢（5月発表の経済指標）

- (ア) 伯中央銀行が週次で発表しているエコノミスト等への調査（Focus 調査）に関して、5月28日時点で、GDP 成長率予測については、2021年は3.96%で先週より0.44%上昇し、2022年は2.25%で先週より0.05%減少した。インフレ率については、2021年は5.31%で先週から0.07%上昇、2022年は3.68%で先週より0.01%上昇した。
- (イ) 3月の鉱工業生産指数は、前月比▲2.4%を記録。前年同月比は+10.5%を記録した。
- (ウ) 3月の小売売上高は前月比▲0.6%、前年同月比+2.4%を記録した。
- (エ) 全国の失業率（2021年1～3月）は14.7%となり、2020年10～12月の移動平均13.9%より0.8%悪化。前年同期比（2020年1～3月）で2.5%上昇した。
- (オ) 4月の拡大消費者物価指数（IPCA）は0.31%となり、前月の0.93%から0.62ポイント減少。直近12カ月累計は6.76%となった。
- (カ) 2021年4月の貿易収支は103.5億ドルの黒字。2021年1～4月の累計は182.38億ドルの黒字。

### (2) 経済政策等

- (ア) 2021年第1四半期のGDP成長率は前期比+1.2%、前年同期比+1.0%となった。
- (イ) 5月19日、伯電力国営企業エレクトロbras社の民営化を可能にする暫定措置案が下院本会議にて承認された。今後、上院にて審議される予定。
- (ウ) 5月25日、下院憲法司法委員会（CCJ）にて、賛成39票、反対26票で行政改革に関する憲法修正案（PEC）が承認された。今後、下院特別委員会にて審議される予定。

### (3) 金融政策

5月5日、伯中央銀行金融政策委員会（Copom）は政策金利（Selic）0.75%引き上げて3.50%とすることを全会一致で決定した。政策金利の引き上げは前回（3月）に引き続き2会合連続。次回会合は6月15日及び16日。

### (4) 為替市場

- (ア) 5月の為替市場は5.22～5.44 レアル/ドルで推移。
- (イ) 月の前半は5.44～5.22 レアル/ドルで推移。経済回復及び税制改革の進展期待に加え、Selicが3.5%に引き上げられたこと等から1ドル=5.2レ

アル台へ。

(ウ) 月の後半は 5.22~5.36 レアル/ドルで推移。米国金利の上昇や経済回復への懸念等から 1ドル=5.36 レアルまで売られるも、GDP 上方修正等を好感し、5.2 レアル台まで値を戻した。

(5) 株式市場

(ア) 5月の株式市場は 117,712~125,983 ポイントで推移。

(イ) 月の前半は主要銀行等の決算結果を好感し株価上昇。米国のインフレ懸念から一時株価下落するも、120,000 ポイント台まで株価回復。

(ウ) 月の後半は経済回復期待、エレクトロブラス社の民営化及び税制改革の進展期待等から株価上昇。感染第3波が懸念されるも、ブラジルの格付けが維持されたことを好感し、126,000 ポイント間近まで迫った。